

白内障に関する患者さんの情報の 研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター眼科では、「高精度な生体計測を用いた新たな眼内レンズ度数計算理論式の開発」を実施することになりました。

この研究の目的は、白内障患者さんの術前術後の検査結果を調べて、術前の検査値が術後の屈折値にどのような影響を及ぼすかを明らかにして、手術後により適正な屈折値をえられるようにすることです。

この研究のため、2014年4月1日から2025年2月28日までに手術を受けた方の調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（術前術後の検査値）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2020年9月

東京医療センター 眼科

研究責任者 野田 徹

連絡先 03-3411-0111（代表）